

冷凍食品への農薬混入事案を受けた食品安全委員会の対応について

平成26年3月14日

食品安全委員会事務局

1. 本事案における食品安全委員会の対応

- マラチオンについて、JMPRが評価したADI（一日摂取許容量）、ARfD（急性参照用量）等の科学的知見について、関係省庁に提供。
- 併せて、事業者による「コロッケ60個までは健康に影響はない」という毒性の見解に対する懸念を厚生労働省に伝達。
（同日夜に厚生労働省は直ちに毒性に関する見解を発出し、事業者に見解の修正を指導）
- マラチオンの概要を食安委HPに掲載するとともに、全国約1万人の会員にメールマガジンを配信。

2. 食品安全委員会の今後の対応

食品安全委員会としては、引き続き、正確な科学的知見を提供することが重要と考えており、以下のとおり、従来からの取組を加速化して実施していく考え。

（1）科学的知見の整理・提供

- ・ 毒性に係る各種指標等の整理
- ・ 各種ハザードに関するリスクプロファイルの着実な実施

（2）緊急時対応体制の強化

- ・ 実践的な緊急時対応訓練の継続的な実施
- ・ 緊急事態に適切に対応するために必要な体制の整備

食品の安全性に関する用語集（第4版） （抜粋）

一日摂取許容量 ADI : Acceptable Daily Intake

ヒトがある物質を毎日一生涯にわたって摂取し続けても、現在の科学的知見からみて健康への悪影響がないと推定される一日当たりの摂取量のことです。一日摂取許容量は食品の生産過程で意図的に使用するもの（残留農薬、食品添加物など）に使われ、通常、体重1 kgあたりの物質質量で示されます（〇〇mg/kg体重/日）。

急性参照用量 ARfD : Accute Reference Dose

食品や飲料水を介して特定の農薬など化学物質のヒトへの急性影響を考慮するために設定されています。ARfDは、ヒトの24時間またはそれより短時間の経口摂取により健康に悪影響を示さないと推定される一日当たりの摂取量で表されます。

LD₅₀(半数致死量) Median Lethal Dose, Lethal Dose 50, 50% Lethal Dose,

化学物質の急性毒性の指標で、実験動物集団に経口投与などにより投与した場合に、統計学的に、ある日数のうちに半数（50%）を死亡させると推定される量（通常は物質質量 [mg/kg体重] で示す）のことです。LD₅₀の値が小さいほど致死毒性が強いことを示します。